

2024年度 活動報告概要

1. 活動概要

- 1) 第1回学術技術交流会(2024/6/11:@福岡) 不参加
- 2) 第2回学術技術交流会(2024/10/23:@愛知) 参加(竹内)
- 3) 第3回学術技術交流会(2024/11/29:@山梨) 参加(竹内)
- 4) 幹事会(2025/1/16) Web 参加(竹内)
- 5) 総会・第4回学術交流会(2025/3/12:@愛知) 参加(守谷・竹内)

2. 外部発表(2024年度)

以下の外部発表を実施。

- 1) 高強度ワイヤロープの開発:資源素材 2024(秋田)ワイヤロープ分科会
- 2) 全磁束磁化器の自走式牽引装置の紹介:資源素材 2024(秋田)ワイヤロープ分科会
- 3) EBSDでの炭素含有量の違いによるワイヤのパーライト組織観察について
:2024 日本塑性加工学会 第92回伸線技術分科会

3. 賢材へ取組み

弊社はワイヤロープをはじめとするロープ・ケーブル類の総合メーカーとして、「Total Cable Technology」の追求により、世界の安全・安心を支えるため、日々前進を続けております。「Total Cable Technology」とは①超高強度スチールワイヤ、高強度繊維、炭素繊維複合材料などの多くの先端素材からなる製品ラインナップと、②使用されるフィールドに即した様々なケーブル加工技術に加え、③健全性診断やエンジニアリングといったソリューション結合して、④グローバル市場に、画期的な商品・サービスを提供できる、当社の強みを一言で表現したもので、この強みを活かし社会に貢献しています。

また、脱炭素社会の実現に向け、従来の生産活動におけるCO₂排出量の削減努力はもとより、製造プロセスの根本的な見直しや、高効率化及びエネルギー転換のための開発テーマを設け、研究開発にも注力しています。さらに、東京製綱グループとして、洋上風力発電事業へ貢献するため、浮体式用係留索の開発と生産体制の整備も進めています。

「共存共栄」という社是のもと、社会に貢献できる企業で有り続けるべく、賢い技術や製品、すなわち賢いモノづくり・サービスを目指し、安心・安全でサステナブルな社会の実現に貢献していく所存です。

以上